

発表先 国土交通省九州記者会・九州専門建設記者クラブ

お知らせ

宮崎日向沖 GPS 波浪計の観測データの公表を開始します！

◆概要:

国土交通省九州地方整備局では港湾整備に必要な沖合の波浪情報の観測を行う目的で、宮崎日向沖GPS波浪計を整備してまいりました。先般(平成26年3月11日)現地海域に設置、通信環境の整備が整ったことから、同年3月24日より運用を開始し、観測データをインターネットに公開します。この観測データは気象庁にも提供することになります。

◆公開アドレス:

国土交通省港湾局 Web サイト「リアルタイムナウファス」 <http://www.mlit.go.jp/kowan/nowphas/>

(スマホ・携帯版) <http://nowphas.mlit.go.jp/>

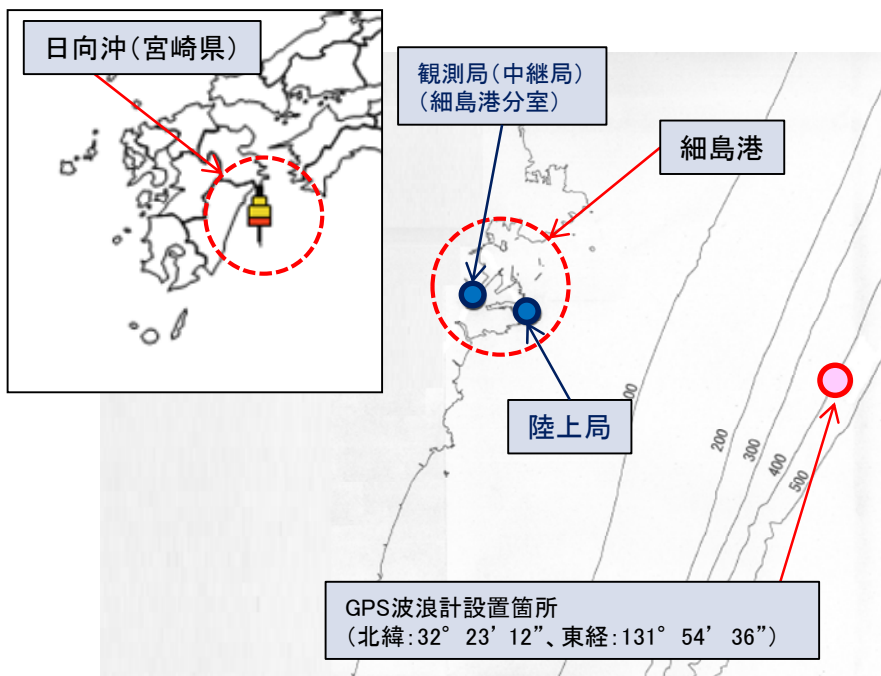


図-1.GPS 波浪計の設置位置



写真-1:GPS 波浪計の全景

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 港湾空港部

海洋環境・技術課 課長 村永 努 (むらなが つとむ)
課長補佐 的野 賢司 (まとの けんじ)

TEL : 092-418-3380

FAX : 092-418-3032

GPS 波浪計とは

◆GPS 波浪計は、GPS 衛星を用いて沖合に浮かべたブイの上下変動を計測し、波浪や潮汐等の海面変動をリアルタイムで観測するもので、港湾整備に必要な波浪情報を取得することができます。

◆当該観測データは、国土交通省 港湾局のウェブサイト「リアルタイムナウファス」で公開されています。

◆閲覧可能項目： 波高、周期、波向、潮位

◆GPS 波浪計は、地震発生時には津波の観測も可能であり、東日本大震災(2011.3.11)においては、東北地方太平洋沿岸の GPS 波浪計が津波をいち早く捉え、気象庁による津波警報及び津波高さの予測に活用された実績があります。

◆この度の GPS 波浪計が設置されることで、波浪観測網の強化が図られると共に、南海トラフ巨大地震等の発生が危惧される中、津波への防災対策等への活用が期待されています。

